

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第66号

nanae historical
museum collection

ななえ古写真物語

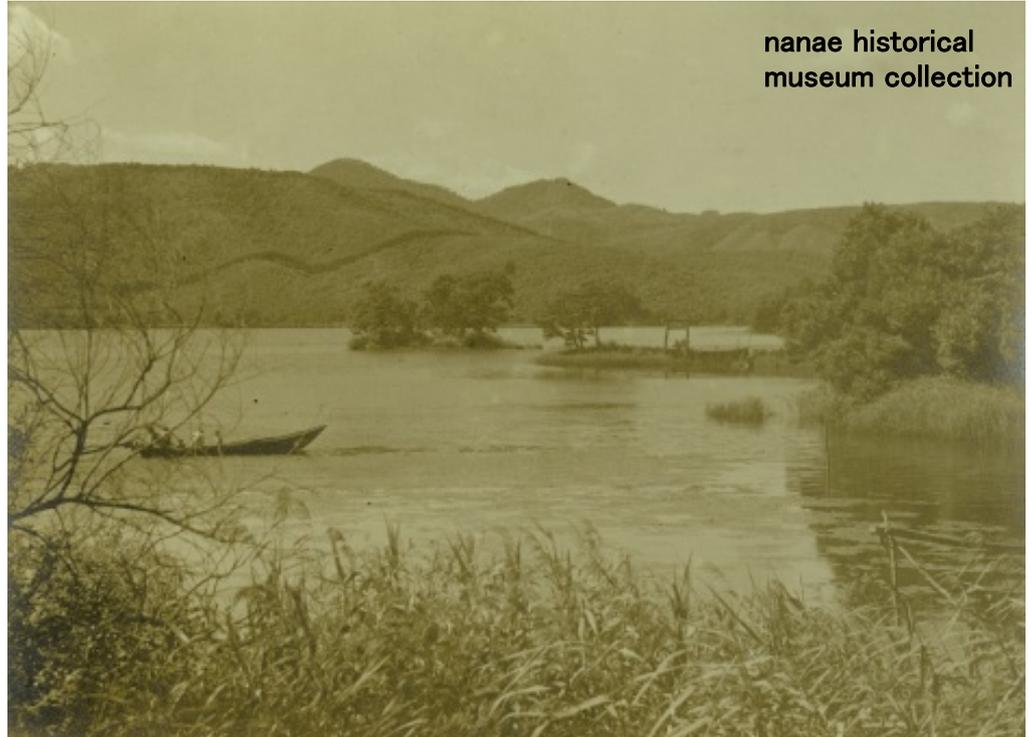
VOL. 66

湖に浮かぶ祠

西大沼弁財天神社

昭和初期か？

西大沼



「大沼三湖」のひとつであるじゅんさい沼が、白鳥の沼や小沼と呼ばれていたことは、過去の「ピチャリ第41号」で触れましたが、この湖に浮かぶ島のひとつに、鳥居が建立され、祠が祀られていることをご存じでしょうか？

冬になると厚い氷で覆われるので、ワカサギ釣りの合間に歩いた方もいるかもしれませんが、草木が茂っていない時期であれば、国道5号を走っていても遠目で確認できますので、知っている人も少なくないと思います。

この島に建てられている神社は「西大沼弁財天神社」と呼ばれており、七飯町史によれば、明治7年に峠下村の田村忠太郎および田村はつの両人の協力で建てられ、その後、現在の小島に移転したとありますから、意外に歴史ある神社であることがわかります。

時期的なことから推測すると、明治5年に開拓使によって「札幌本道」が開削された影響から、西大沼に移住する人が増えたり、観光の拠点となりつつある中、そのような動きに至ったのではないかと考えます。

簡単にお参りできる場所ではありませんが、湖に浮かぶ島々にそのような信仰対象があるのは趣があっていいと思います。

また、昭和57年に菊地恒忠氏が執筆した「じゅんさい沼物語」では、毎年8月19日・20日には祭りが挙行されたそうで、宵宮祭では、小学校には舞台が組み、舞踊やコント、のど自慢大会などが開催され、本祭では、真っ赤な衣装に身に包んだ神官や祭りの役員たちが、船で島へ渡りお参りしている様子が描かれています。

さらに興味深い話として、この祠に安置されている御神体の弁天様は蛇を身体に巻きつけており、竜神様と一緒に考える人もいるということ、祠の創建関係は不明だが、御神体を納めている箱のふたに「文化六歳（1809年）次己正月吉日 山納主」の文字が書かれていることが記されています。どちらの話しも、西大沼の歴史を考える上では、とても重要なものと個人的には思います。

さて、上の写真は、昭和初め頃と思われる西大沼弁財天神社の様子になります。湖に浮かぶ島には、木々に覆われ祠が、その対岸の突き出た場所には鳥居が建てられています。そして、静かな景観に動きを与えるかのような一艘の船の存在が、歴史を紡ぐ一条の糸のように思えてしまうのは、私の考えすぎでしょうか？

11日

春の探鳥会を開催しました。毎年さほど日にちは変わらないこの会ですが、今年は特に寒かった気がします。それでも、多くの方に参加していただき早朝の大沼を散策しながら観察しました。

3グループに分けて、観察を始めたのですが、今年はキビタキやオオルリが多いようで、あちこちでその姿と美声を堪能できました。しかし、途中から雨に降られ、予定より早く解散する羽目になりましたが、計48種の野鳥を観察できました。参加された皆様寒い中ありがとうございました。



12日

大中山小学校周辺を会場に、ななえの観桜会を開催しました。

講師には桜守の浅利政俊氏をお招きし、散策をしながら、品種の見分け方や桜につく病気の話など、豊富な知識をわかりやすく解説して頂きました。

今年は、桜の開花が例年より遅く、ほとんど桜が咲いていない中の観桜会となりましたが、参加された皆様は講師の話しを熱心に聴いて下さりました。

来年は満開の中で開催したいです。



25日

ジュニア探検クラブで、畑づくりをして、男爵薯を植えました。

午前中は、七飯町が日本ではじめて西洋農業を導入した町であることを学ぶため、プラウとハローを使って畑を耕し、その後、鍬を使ってうねを作りました。

午後は男爵薯の勉強から。学芸員が川田龍吉男爵の人柄や七飯町で男爵薯が誕生した歴史について解説。種イモの芽かきをした後、みんなで畑に植えました。

農作業は大変だったかな？



男爵薯だぜい！



ハロー使用中！
つ、つかれる…。



1	月
2	火
3	水 夜の博物館
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月 海の日
16	火
17	水
18	木
19	金 企画展OPEN予定
20	土
21	日
22	月
23	火
24	水
25	木 ジュニア探検クラブ
26	金
27	土 昆虫標本づくり教室(予定)
28	日
29	月
30	火
31	水

※7月の休館日はありません。

七夕かざり

ただ今、常設展示室に七夕飾りを飾っております。短冊も用意しておりますので、自由に願い事を書いて笹にさげて頂ければと思います。



編集後記 ~tawagoto~

この時季、当館の横にある杉林から聴こえる鳥たちのさえずりがとても心地よい……。姿を見ることはあまりないのだが、アオバトやキビタキ、ホトトギスなど、数えてみると種類も結構いることがわかる。そして、木々の奥から響き渡る美声が心を癒してくれる。

初夏の爽やかな風に吹かれ、おもむろに一息ついている時に聴こえてくるとなおさら……。あっ、ちゃんと仕事はしてますからね。(やまだひさし)

Richard

~ピチャリ~

第66号

平成25年6月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp